

SAPデータと文書を統合してSAPへの投資を最大化

導入効果

- 受注から入金および発注から支払いまでのプロセスを最適化
- カスタムプログラミングを行わずにデータ入力の重複を排除
- 処理量の増加にも人員を追加せずに対応可能
- トランザクション 1 件当たりのコストを削減

概要

SAPを活用する組織にとって、ERPによってもたらされる価値は計り知れないものです。事業所が数ヶ所に分散している場合でも、会計上および業務上のデータを容易に管理できるERPは事業の運営上不可欠な存在となっています。

しかし、SAPを使用する場合、一元管理された場所からデータを即時に利用することはできても、担当者が必要としている関連文書を同様に入手することはできません。その結果、多くの時間の無駄が生じ、業務効率を向上させることは望めません。

課題

注文書や支払関連文書は、お客様や業者の要件に応じてファックス、郵送、電子メール、電子データ交換など、様々な方法で送付されます。従業員は、SAPのトランザクションに関連する情報や文書の検索に過剰な時間を費やしています。以下は、その理由のいくつかです。

- 複雑を極めるSAP内での関連文書の管理
- ボトルネックを特定できない可視性の欠如
- 過剰な経費、リスク、時間の遅れを発生させるデータ入力の重複

ソリューション

SAP認定ソリューションであるOnBaseは、組織内で使用している高性能なERP内の既存データを活用します。フロントエンドで文書を電子的に取り込んでSAPトランザクション画面から即時に提供することで、手作業による遅れを解消して処理サイクルを短縮し、リスクを低減します。

紙文書をイメージ化して電子文書を直接OnBaseにインポートすることで、文書のインデックス作成時に自動的にSAPトランザクションに関連付けます。ERP画面や業務アプリケーションから文書を直接利用できるだけでなく、権限を与えられたユーザーであれば、セキュアなWebポータルからいつでも場所を問わず文書を表示することができます。

SAPのデータに基づき自動的にインデックスされたインポート済み文書によって、自動的にSAPトランザクションを作成して承認ワークフローを起動することも可能です。その結果、従業員のタスクは簡易化され、必要な情報の検索に時間を費やすといった無駄が解消されます。

OnBaseのオンプレミス型、ホスト型またはSaaS型のワークフローによって、カスタムプログラミングや長期間を要する統合を行うことなくSAPシステムを強化することができます。監査証跡、リアルタイムのレポート機能、エグゼクティブダッシュボードによって、意思決定者は業務プロセスの早期段階で可視性を得ることができると同時に、社内規程を効果的に実施することが可能になります。

SAPトランザクションに文書とEメールを連結

担当者は関連文書を探し回る必要はなく、SAPのトランザクション画面で文書を利用できるため、文書の価値が最大限に発揮されます。EDIストリームやEメール、ファックスや封書など、文書の受け取り方法に関わらず、OnBase SAPソリューションはフロントエンドで文書を収集し、即時に利用可能な状態にすることで、以下のようなメリットを提供します。

- SAPデータを使用して文書のインデックスを自動作成し、文書をERP画面に自動的に紐付け
- 業者やお客様の様々な要望に対応すると同時に文書の可視性を向上
- 単純なトランザクションを自動化することで、担当者は例外事項への対応に集中可能
- 業務環境を変えることなく、SAPプロセスに関わる従業員の生産性を改善

コストを伴う遅延を解消し、回答時間を改善

SAPデータと連携したOnBaseドキュメントマネジメントは、監査証跡、リアルタイムなレポート機能、エグゼクティブダッシュボードによって、意思決定者に重要な情報に対する明確な可視性を提供します。OnBaseが管理する電子文書は、SAPトランザクションからはもとより、フォルダインターフェース、インターネットまたはWebポータルを通じて入手することが可能です。複数のユーザーが同じ文書を同時に表示することができるため、別の担当者のデスクに放置された文書を探して時間を無駄にするといったことが一切なくなり、以下のようなメリットを提供します。

- OnBaseとSAPの個別管理ではなく、SAPデータと同期した文書管理を実現
- ドキュメントのインポート時に自動的にSAPトランザクションを作成することで、重複するデータ入力作業を排除
- お客様や遠隔地の従業員が文書やレポートを入手できるポータルベースのWebアクセスを提供

多額な統合やカスタムプログラミングを行うことなく、SAPへの投資を有効活用

OnBase SAPソリューションでは、SAPを介して文書を手入手できる一方で、文書自体の格納・管理はSAPの外部で行われます。オンプレミス型、SaaS型、またはホスト型のOnBaseドキュメントマネジメントおよびワークフローは、SAPワークフローを補完し、適切な管理を確実に実現します。カスタムプログラミングや追加のSAPライセンスを必要とせずに、2つのシステム間での文書回覧が可能です。

OnBaseを選定する理由

OnBaseは、組織が投資した高性能なERPによる以下のような有効活用を容易に実現します。

- 受注から入金、発注から支払いまでのプロセスを最適化し、トランザクション 1 件当たりのコストを削減
- カスタムプログラミングを行わずにデータ入力の重複を排除
- 処理量の増加にも人員を追加せずに対応可能